

地方独立行政法人堺市立病院機構
令和元年度の業務実績に関する評価結果報告書
(案)

令和 2 年 月

堺 市

《 目 次 》

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
（Ⅰ）大項目評価	4
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	6
第3 財務内容の改善に関する事項	7
第4 その他業務運営に関する重要事項	8
（Ⅱ）小項目評価	9
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 市立病院として担うべき医療	1 3
2 高度専門医療の提供	2 4
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供	3 3
4 地域への貢献	4 6
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	
1 効率的・効果的な業務運営	5 5
2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり	6 2
第3 財務内容の改善に関する事項	
1 安定した経営基盤の早期確立	6 6
第4 その他業務運営に関する重要事項	
1 環境にやさしい病院運営	7 0
《参考資料》	
・地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針	7 5
・地方独立行政法人堺市立病院機構 年度評価実施要	7 7

はじめに

堺市長は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人堺市立病院機構の令和元年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会条例第2条第1項第2号の規定に基づき、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会の意見を踏まえ、平成30年4月1日に決定した「地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針」及び「地方独立行政法人堺市立病院機構 年度評価実施要領」に基づき評価を行った。

堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	役職名等
委員長	後藤 満一	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 総長
職務代理	西川 正治	一般社団法人堺市医師会 会長
	北村 愛子	大阪府立大学 療養支援看護学（急性看護学）教授
	篠藤 敦子	公認会計士・税理士
	高橋 聖	大阪ガス株式会社 南部地区支配人・和歌山地区支配人

地方独立行政法人堺市立病院機構令和元年度の業務実績に関する評価結果

第1項 全体評価

1. 評価結果及び判断理由

地方独立行政法人堺市立病院機構における令和元年度の全体評価の結果は、
『全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している』である。

令和元年度の業務実績に関する評価については、4ページ以降に示すように、第1から第4までの4つの大項目について、全て「評価A（中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる）」と判断した。

この大項目評価の結果に加え、組織風土の改革と経営基盤の強化に向け、内部統制の再構築、コンプライアンス意識の醸成及び組織再編を行い、新興感染症である新型コロナウイルス感染症に関しては早期から対応した。特に

①救急医療については、重症患者の搬送応需率を上昇させるなど、診療体制の一層の強化に取り組んだことにより、厚生労働省による救命救急センター充実段階評価において、最高ランクのS評価を獲得したこと

②感染症医療については、行政と連携したスムーズな患者の受け入れ、PCR検査の実施など、院内感染を発生させることなく日々変化する状況を予測しながら柔軟に対応したこと

③地域での医療従事者の育成については、医療人育成システムの更なる充実を図った結果、臨床教育に対する取り組みが認められ、令和2年度の初期研修定員数が11名から13名へと増加したこと

など、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、年度計画に基づき、順調に取り組みを実施していることから、令和元年度の業務実績は、「全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している」とした。

項目別評価の結果一覧

大項目	評価 項目数	小項目評価数					大項目評価
		5	4	3	2	1	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	15	4	9	2			A
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	5		5				A
第3 財務内容の改善に関する事項	1		1				A
第4 その他業務運営に関する重要事項	1			1			A
合計	22	4	15	3			
(再掲) 重点小項目	3	1	2				

2. 全体評価にあたって考慮した内容

令和元年度は、引き続き、質の高い医療の提供に取り組むとともに、内部統制の再構築、コンプライアンス意識の醸成及び組織再編を重点的に行った年であった。

特に、救急医療については、重症患者の応需率を上昇させるなど、診療体制の一層の強化に取り組むとともに、一部の時間帯における救急患者受入窓口の一本化による救急搬送応需率の上昇や、搬送困難事例に対応したことによる救急搬送や病院選定の応需対策への寄与など、地域完結型医療を推進したと言える。

感染症医療では、新型コロナウイルス感染症に対して、感染症対応マニュアルの制定及び院長を本部長とした対策本部の設置を始めとし、行政と連携したスムーズな患者の受け入れや、受け入れ要請に対応するための一般病床の新型コロナウイルス感染症患者専用病棟への切り替え準備の実施、堺市衛生研究所と連携した PCR 検査の実施など、病院一丸となって対応するとともに、地域の医療機関等とも連携し、第一種及び第二種感染症指定医療機関として地域の感染症医療における中核的な役割を担うなど、その使命を果たしており、高く評価することができる。

がん医療については、がんゲノム医療において、遺伝相談外来（HBOC 外来）を開始し、ゲノム医療に関する相談への対応や院内での遺伝子パネル検査の実施体制の整備など、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の質的向上に取り組んだ。緩和ケアにおいては、早期からの緩和ケアチームによる介入や、緊急緩和ケア病床の利用や地域連携パスの推進を行うなど、必要に応じて患者・家族に適切な緩和ケアを提供できるよう努め、がん予防についても、胃内視鏡検査の健診枠を増加し、がん検診を受診しやすい環境作りを行うなど積極的に取り組んだ。

人材育成については、初期研修から後期研修を連動させたシームレスな医療人育成システムの充実を図るなどの取り組みの結果、令和 2 年度の初期研修定員数が 2 名増加した。また、医学生をはじめとする医療系学生の実習等の受け入れや、専門薬剤師による地域の薬局に勤める薬剤師の専門薬剤師育成制度の構築、堺市消防局に勤務する救急救命士の挿管実習の実施など、自院だけでなく、地域の医療専門職の養成や医療従事者の育成に貢献しており、高く評価することができる。

組織づくりについては、①組織、体制の整備、②契約関係業務の見直し、③職員の法令遵守意識の徹底、④通報窓口の設置・強化など、さまざまな取り組みを行い、より質の高い病院運営ができる体制の確立・維持に努めた。

経営状況は、入院・外来の延患者数及び単価がともに前年度を上回り、入院・外来収益の合計が約 12.1 億円増加するなど、一層の収益の確保に取り組み、後発医薬品への変更や医療機器の院内メンテナンスへの切り替えなど、費用削減にも取り組んだ結果、経常収支比率が 99.8%と年度計画目標を上回った。

3. 評価にあたっての意見、指摘等

- 新型コロナウイルス感染症の対応について、引き続き、職員の安全を十分に確保した上で、堺市と連携しながらの対応をお願いしたい。
- 引き続き、より質の高い病院運営ができる体制の確立・維持に努めていただきたい。

第2項 項目別評価

(I) 大項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	計画よりやや遅れている	大幅に遅れており重大な改善が必要

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。特に、1－(1)救命救急センターを含む救急医療、1－(3)感染症医療、3－(1)医療安全対策の徹底、4－(2)地域での医療従事者の育成の4項目は、さまざまな取り組みを評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断した。また年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1－(4)災害その他緊急時の医療、2－(1)がんへの対応、2－(3)高度専門医療の推進、3－(2)医療の質の向上、3－(3)法令・行動規範の遵守(コンプライアンス)、3－(4)患者の視点に立った医療の実践、3－(5)患者サービスの向上、4－(1)地域の医療機関との連携推進、4－(3)医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力の9項目である。

次に重点ウエイト小項目である1－(1)救命救急センターを含む救急医療については、「年度計画を大幅に上回って実施している」、2－(1)がんへの対応については、「年度計画を上回って実施している」の評価とした。

これらのことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1 市立病院として担うべき医療	(1)救命救急センターを含む救急医療	○					◎
	(2)小児医療・周産期医療			○			
	(3)感染症医療	○					
	(4)災害その他緊急時の医療		○				
	小計	2	1	1			

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
2 高度専門医療の提供	(1)がんへの対応		○				◎
	(2)脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応			○			
	(3)高度専門医療の推進		○				
	小計		2	1			
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供	(1)医療安全対策の徹底	○					
	(2)医療の質の向上		○				
	(3)法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）		○				
	(4)患者の視点に立った医療の実践		○				
	(5)患者サービスの向上		○				
	小計	1	4				
4 地域への貢献	(1)地域の医療機関との連携推進		○				
	(2)地域での医療従事者の育成	○					
	(3)医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力		○				
	小計	1	2				
合 計		4	9	2			
(構成比率)		100.0%					

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	計画よりやや遅れている	大幅に遅れており重大な改善が必要

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1－(1) 自律性・機動性の高い組織づくり、1－(2) 質の高い経営、1－(3) 外部評価等の活用、2－(1) 職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備、2－(2) 働きやすい職場環境の整備の5項目である。

これらのことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1 効率的・効果的な業務運営	(1)自律性・機動性の高い組織づくり		○				
	(2)質の高い経営		○				
	(3)外部評価等の活用		○				
	小計		3				
2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり	(1)職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備		○				
	(2)働きやすい職場環境の整備		○				
	小計		2				
合 計			5				
(構成比率)		100.0%					

第3 財務内容の改善に関する事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	計画よりやや遅れている	大幅に遅れており重大な改善が必要

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1 安定した経営基盤の早期確立の1項目である。

また、この小項目は重点ウエイト小項目であり、その評価は「年度計画を上回って実施している」とした。

これらのことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウエイト小項目
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 安定した経営基盤の早期確立		○				◎
小計		1				
合 計		1				
(構成比率)	100.0%					

第4 その他業務運営に関する重要事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき 進捗状況	計画どおり 進んでいる	おおむね計 画どおり進 んでいる	計画よりや や遅れてい る	大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している状況という結果であった。

このことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウ ェイト 小項目
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 環境にやさしい病院運営			○			
小計			1			
合 計			1			
(構成比率)	100.0%					